

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		グロース水川				公表日	令和 7 年 3 月 20 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0	適切なスペースを確保している。	今後も適切であるように努めていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	0	適切な職員配置を行っている。	適切な職員配置となるよう、日々の勤務時間、シフトにはパートさんを含め全職員に協力をしてもらおう。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	2	施設出入口、トイレ出入口に段差がある為、契約利用時の説明や張り紙等で都度、周知をしている。	こどもにより分かりやすい構造となるように努めていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0	出勤時には職員で必ず指導室の清掃を行っている。また、ホワイトボードに予定を書いて、子どもたちが本日の行動をイメージできるようにしている。	活動の幅を広げたり、活動のしやすさを求める為の配置等には検討していく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0	子どもの状況に応じて事務室を個別の部屋として使用している。	個別の対応が増えた場合を検討、視野に入れていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	0	ITツール・システムを導入しており、全職員に周知や共有を行い、業務改善の促進を行っている。	業務に対する職員の理解度についても確認、見直ししていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	アンケートを実施し、内容について周知及び話し合いを行い、業務改善に繋げている。	保護者の声をより業務改善へと繋げられるように努めていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	職員とはミーティングもしくは個別面談にて改善に取り組んでいる。	職員それぞれでも意見交換が出来る場を設けていきたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	12	第三者による外部評価を行っていない。	今後、どうしていくか事業所内で検討する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	事業所内研修や外部研修への参加を行っている。	より沢山の職員が参加出来るような体制作りにも努めていく。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	今年度よりホームページにて支援プログラムを掲載している。	内容に至っては利用児童に対応できるように、都度、修正していく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	0	個別に面談の機会を設け、一人一人の状況を確認して計画を作成している。	こどもと保護者のニーズや課題をより客観的に分析していく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	個別支援計画作成については、個別支援計画作成会議として実施している。	日々の支援の中でも共通理解を深めることで、更なる利用児童への支援の改善を目指していく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0	個別支援計画を職員間で共有、日々の支援への落とし込みに努めている。	全職員が計画を理解し、より計画に沿った支援となるように努めていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0	アセスメント表を作成し、一人一人の状況を確認している。	今後も標準化されたものだけでなく、インフォーマルなアセスメントの実施をしていく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0	今年度より5領域を全利用児童の支援内容に盛り込んで計画を作成している。その他の家族支援、移行支援等は、家族の移行や年齢等にも合わせて設定している。	各々に合った具体的な移行支援となるように努めていく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0	職員間で情報共有や意見交換を行っている。	チームの中でも様々な意見が出るように、チーム内でも分担してみる。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	職員間で状況を確認し、意見交換を行っている。	固定化がないように様々な意見から取り入れていく。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	個々の特性に応じて個別活動、集団活動の内容を立案し、提供している。	より子どもの状況や個々の特性を理解し、個別活動、集団活動での支援へ活かしていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0	支援開始前に確認を行っている。打ち合わせに参加出来ない職員にはLINEグループにて共有、確認している。	支援前に顔合せて打ち合わせをパートさん含めて出来るように工夫していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	0	支援終了後に確認を行っている。対面での打ち合わせ、振り返りが難しい場合には、LINEグループにて共有、確認している。	対面での打ち合わせが出来る限り出来るように工夫していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0	サービス提供記録を毎日必ず記入し、共有している。	提供記録から支援の改善に努められるようにしていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0	半年に一度モニタリングを行い、個別支援計画等の見直しを行っている。	今後も引き続き行い、職員にも周知していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	12	0	4つの基本活動が複合するよう、日々の支援や活動内容に工夫をしている。	地域の交流の機会を増やしていけるよう検討する。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	0	子どもたちで予定やおでかけ先を決めたり、買い物訓練等、自己決定の力を身に付けられるような支援を心掛けている。	選択肢を増やしたり、自己選択の場を増やしていけるようにする。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	児発管が参加し、状況に応じて指導員も参加している。	様々な指導員も参加できるように人員にも工夫をしていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	1	学校や事業所、相談支援センター等との連携が取れるように努めている。	医療機関との連携は地域の課題として捉え、今後を考える必要がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	0	各学校と情報共有や連絡調整等、状況に応じて適切な連携ができていく。	今後もトラブル等ないように、努めていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	12	現在のところ就学前の施設との情報共有は行われておらず、保護者からの連絡に留まっている。	今後、検討も視野に入れていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	12	卒業後に障害福祉サービスへ移行となることが現在のところない。	障害福祉サービスへと移行する場合も考慮して、障害福祉サービスとの日頃の連携が取れるようにしていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	2	主に児発管が児童発達支援センターと連携を図り、情報収集や研修等の参加に努めている。	日々の支援にも活かせるよう、指導員に対しても連携が取れるようにしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	8	児童クラブ、児童館への送り迎えはあるものの、交流までは至っていない。	今後、検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	11	（自立支援）協議会には参加できていないが、放課後等デイサービス事業所連絡会には参加している。	（自立支援）協議会にも参加していくことを検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	送迎時等、必要に応じて日々の状況を伝達し、情報共有に努めている。	より密な情報共有ができるように努めていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	1	ペアレントトレーニングは実施できていないが、アセスメント、モニタリング時など、必要に応じて保護者支援を行っている。	ペアレントトレーニングを導入していくことも検討していく。
関係機関や保護者との連携	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	契約時に書面及び口頭にて説明している。	より分かりやすい説明を心掛けていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0	契約時における面談等で意向について話を聞くようにし、支援計画を基に作成している。	保護者だけでなく、子どもの声にもしっかりと耳を傾けていくように努める。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	0	計画を説明しながら同意を得ている。	より分かりやすい説明を心掛けていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	保護者が相談しやすいような環境、関係性を作り、助言や支援を心掛けている。	積極的に交流し、助言や支援を行っていく。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	2	父母会等の実施は行っていないが、保護者同士の連携を図る為のイベントを実施している。	事業所内の行事やイベントにて今後、更なる交流機会を増やしているように考えていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	苦情がないよう、日々の関係性から気を配り、苦情があった場合にも対応出来るように職員間での話し合いを行っている。	現段階では、苦情等と判断する事例はないが、あった場合には迅速かつ適切な対応、改善を行えるよう心掛けていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	ITツール・システムを導入している。	ITツール・システムより、都度発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0	個人情報の管理の仕方に工夫している。	個人情報の取り扱いには注意し、遵守するよう努めている。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	配慮するように努めている。	各保護者や子どもに合わせた意思の疎通を図れるように努めていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	6	地域住民も招待したイベントを実施。	より地域に開かれた事業運営となるように、イベント等の開催に工夫をしていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0	職員への周知を行い、保護者には緊急時対応マニュアルについては書面にて配布している。	発生を具体的に想定した訓練となるよう改善していくとともに、防犯マニュアル等についての保護者への周知も行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0	BCPを作成しており、訓練等も実施している。	今後様々なことを想定した訓練を検討し、実施していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12	0	保護者の方とのやりとりで服薬等の情報を共有している。	研修等を通じて、てんかんの知識、支援について深く学んでいく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	12	契約時、保護者からアレルギー情報についての事前の確認は行っている。	医師の指示書に基づく対応も検討していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0	安全計画を作成している。	内容については必要に応じて、都度修正をしていく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	0	家族にも書面にて配布、周知している。	新規契約の方にも都度、周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	都度作成し、共有を行っている。	パートさんにも都度、共有できるような体制を心掛ける。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	研修参加や情報共有を行い、適切な対応ができるように努めている。	事業所内研修のみならず、全職員が外部の研修等に参加出来るようにしていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	0	契約時に説明を行い、契約書・重要事項説明書に記載している。	放課後等デイサービス計画への記載の仕方を検討していく。	